



ススキ（芒）

秋風にしなやかに揺れるススキは、どこか侘しげですが、秋の七草の一つに数えられ、野山に一層の趣を添えてくれます。

ススキは、すくすく立つ木のような草ということが語源であり、動物の尾を連想させることから尾花ヒナという別名もあります。

また、萱葺き屋根の「萱」というのはススキのことで、この他簾シタ、草履ワラジ、炭俵ツル、縄等の材料として使われるなど外見に反して強靱な植物です。古代から和歌や俳句の好題材として親しまれてきたばかりでなく、実用の面でも日本人の生活に深くかかわってきたようです。

「秋の日にひかりかがやくすすきの穂

これの高屋に登りて見れば」

良 寛